



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2010年新春号

1月31日「朗読コンクール」於赤坂区民センターホール



一般の部優勝 岡崎 弥保さん



大学生の部優勝 戸村 玲さん



一般の部2位 滝本 忠生さん



一般の部3位 懸久恵さん



一般の部入賞 山崎 巖さん



一般の部入賞 穂田 遼子さん



大学生の部2位 岩瀬 早秋さん



大学生の部3位 水上 雅代さん



大学生の部入賞 江澤 璃菜さん



大学生の部入賞 班石 あゆみさん

城所ひとみ 理事長



「嬉しさも中くらいなり おらが春」と言う句がありますが、今年は「嬉しさも最大なり おらが春」と言う年になりそうです。

昨年は本当に NPO 日本朗読文化協会始まって以来の激動の1年でしたが、そのために却って会員、運営委員会の結束力が強まり、皆様がほんとに NPO 日本朗読文化協会を、事務局を助けてくださりまして、素晴らしい活躍で、まるで自分のことのように当協会のことを心配し、協力を惜しみなく尽くしていただきました。そういう意味では当協会始まって以来の目覚ましい飛躍の年であったとも言えます。ですから今年は嬉しさも最大なり、と言う前向きの気持ちになれるのだと思います。既に昨年12月の朗読アラカルト、新年会、朗読コンクールも終わりましたが、それらが全て思った以上の大成功でした。それは皆様がボランティアでお手伝いしてくださった御蔭です。

NPO 日本朗読文化協会は朗読を深めると同時にその朗読をする方達の裏方で舞台を作り上げることも経験でき、それをすることで、ご自分が舞台上に立ったときには裏方の大変さも分かり、感謝しつつ朗読をするということになります。NPO 日本朗読文化協会の大方針は感謝の気持ちを持って、ボランティアを積極的にすることで朗読を通して世の中に貢献し、美しい日本語文化を高めることにあります。私も理事長として、持てる力を全て尽くして当協会の為に頑張りますので、皆様よろしくお願い致します。

田中久弘 理事



私は自ら朗読は致しませんが、朗読が日本の各地に広がりを見せていることを知っていますし、日本の文化をより高める役割を果たして、大きな意義があると思っています。

もう10年も経ったでしょうか、今は亡き草苺清子さんから「日本朗読文化協会を立ち上げたいので発起人になって呉れ」と持ちかけられ快諾、理事にも就任し今日に至っています。

草創期においては組織の強化に些かでも役立つことが出来たと思いますが、紆余曲折をして今日は加賀美さん・飯田さん・伊沢さん等、優秀な人材を得て私はすでに“老兵かなア”と思うことしきりです。

【経歴】

元劇団飛行船グループ代表・現在国際テアトロ奨学会(旧称/劇団飛行船国際奨学会)理事長・(財)すぎの子文化振興財団理事など。著書に「道半ばなれど」(劇団飛行船のアート・マネージメント)・「不況時代の実践経営学」・詩集「大人の童謡“齢はとりたくないもんだ”」など。

飯田輝雄 理事



本は電子書籍で、音楽はiPodのような携帯プレーヤーで楽しむ時代。また「ツイッター」なんてつぶやくだけで、今後事足りるようになったら、日本語はどうなってしまうのか…。

そんな私の心配は取り越し苦労に終わるだろうと確信できるのが、当協会のイベントに携わるひとときです。

私が「朗読の日」や「朗読アラカルト」などの演出に参加するようになって3年。活字では伝えきれない言葉に「命」が吹き込まれ、舞台を通して生き返り、読み手の声や感情で七変化する。そんな時、言葉の大切さ、そして心によって如何様にも変わる日本語の美しさ、切なさ、頼もしさに感動します。そして、そんな言葉に命を与える人たちは、舞台上でオーロラのような輝きを放つ…。

今後ITでどんなにスゴイものが開発されても、人の声で織り成す朗読の世界は不滅です。私たちができることは、日本語の美しさを舞台を通して伝え、朗読の楽しさを若い人たちにも伝承していくこと…。

2010年、今年も舞台上で大いに暴れ、大いに叫びましょう。「楽しいよ、朗読って。素敵だよ、日本語って」

山田和雄 事務局長



はじめまして。

この度、事務局長を引き受けて約3ヶ月があつという間に過ぎ、ようやく皆様の諸活動が理解できるレベルになりました。

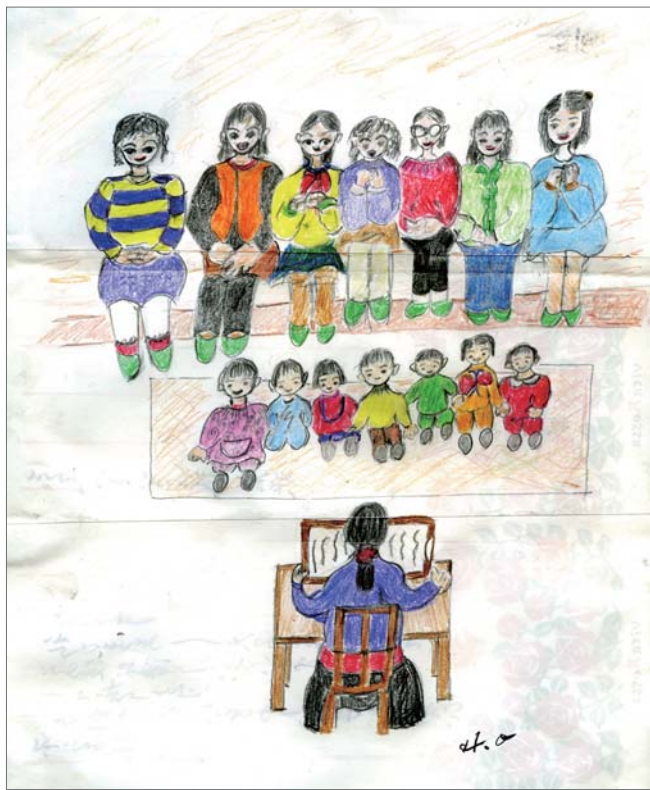
これまでは、企業(伝統ある封建的鉄鋼・機械メーカー、外資系コンピュータ企業、人材紹介・オーナー中小企業)で経理・資材の管理系の業務を約42年遂行してきました。30歳台後半6年間のニューヨーク駐在員生活が一番印象深い思い出です。

人生最後の仕事として 朗読という文化活動や非営利NPOに関われるということは、誠に素晴らしいことと、ワクワクしております。

皆様の朗読ボランティア・朗読文化活動および当協会の発展に多少とも貢献できますよう事務局として頑張りたいと思います。

「朗読」の世界は未熟なので、当面ご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、よろしくご申し上げます。

朗読ボランティアグループ かもめ



芝公園児童館よみきかせ風景

絵 小川弘子

「芝公園児童館」～幼い子供たちに触れて～

毎月1回、正味10分の逢瀬を楽しみに通っている。0才～2才のお集まりに、私はことばに込められた心を届けたいと願う。お母さんたちの前に並んで一心にお話を聞く子供たち。本当に可愛く私が魅せられてしまう。微力ながらやがて子供たちの心への種蒔きが、実り多い時をむかえますようにと祈っている。(小川弘子)

「有料老人ホーム グランダ瀬田」を訪問して

用賀の住宅街にある入居者現在44人の明るい介護住宅。三年前から10人前後の方が聞いて下さっている。高齢化が進んでいるので、朗読時間を減らし、聞いていただくことより声を出してもらうことが心がけ始めた。合唱と白秋の「五十音図」などで元気な声を出し、昔習った古典の冒頭や「母への手紙」などを一人ずつ輪読、想い出話をしてもらうと、表情が生き生きなさる。それが嬉しい。(望月鏡子)

「せせらぎ」～楽しい時間を過ぎて～

昔懐かしい染物屋さん、小さなパン屋さん等を横目に急坂を登ると広大な敷地が…。



フロントの横では、エプロン姿のご婦人たちが温かく迎えてくれる。お汁粉などをいただきながら打ち合わせ。地下で迎えて下さる方もホットな雰囲気。気持ち良く読ませていただき退散。お後の楽しみは、駅前の古びた喫茶店で。ブアイソなご主人と馴染みの初老の男性との会話に聞き耳を立てたりして(でも、こちらもしっかりオシャベリして)本日の訪問は終わり。(深澤真理子)

「お台場 湖聖会」～いつもの皆さんにお会いして～

目前に松海原の緑豊かな環境そして明るく充実した施設の中で、優しい職員と参加者とが睦まじく和やかなムードで。参加者の中には104歳の方も。分かり易く短い面白い話や、歌・絵・身振りなどお互いに共鳴できるものが喜ばれる時間30分。「また来てネ」の言葉が嬉しいです。(行田夏枝)

「チャーミング・スクウェア白金」 ～すてきな時間を過ぎて～

白金の閑静な住宅地にある「チャーミング・スクウェア白金」。時には参加者の方から趣味のお話を聞いたり作品を見せていただいたりする事も。恵まれた環境と設備の中で、日によっては参加者が少ない時もあるのですが、楽しみにして待っている方がいる限り足を運び朗読をお届けしたいと思っています。(宮内佳代子)

「ヒュッテ目黒」 ～人生の先輩から元気をいただいて～

「ヒュッテ目黒」のエレベーターには今日もスタッフの方が心を込めて作ってくださったチラシが貼ってありました。朗読の時間のお知らせです。月に1度、ご高齢の入所者の皆さんと一緒に歌ったり語ったり、読んだり聴いたり楽しいひととき。いつもあつという間に時間が過ぎて、きらきらした目と屈託のない笑顔に送られ、元気をいっぱいもらって帰ります。好きなことをして喜んでいただけるなんて本当にありがたいことだと思っています。(志満本けい)

朗読アラカルト



お天気に恵まれ、師走も半ばを過ぎた 12月19日(土)、第2回朗読アラカルトが赤坂区民センターホールで開催されました。

初めて舞台に立つ人、去年に次いで2度目の人、ベテランの人と出演者は様々でした。またお客様も八重洲朗読会の常連の方々を始め、新聞で知った、知人が出演するからなど昨年を上回る 200 名の方のご来場がありました。読む人も聴く人も楽しかったと言ってお帰りくださり、まさしく「忙中に閑」のひとつときを過ごして頂けましたこと、嬉しく思います。

昨年に引き続いて演出を担当して下さった飯田輝雄先生、司会の飯島晶子氏、お手伝い戴いた voiceK の皆様、ありがとうございます。

また、微力な私たちが無事この朗読会を終えることができたのは、港区スポーツ財団の全面的なバックアップがあったことは言うまでもありません。この紙面をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございました。(宮崎弥生)

1月八重洲朗読会 (お客様にお聞きしました)

- この朗読会はインターネットで知りました。それぞれのかたの朗読がとてもお上手で満足です。
- 区民センターで行われた「朗読アラカルト」でチラシをいただきました。久しぶりに朗読を聞きましたが楽しかったです。きてよかったです。
- 出演者の友人です。朗読も楽しいですが着物姿が良いですね。又来月も伺いたいです。
- インターネットで知りました。来場は今回が初めてです。期待以上の出来ですね。無料でこれだけのものを聞かせていただけるなんて嬉しいですね。また参ります。
- 初めの方から聞いております。伺ったのは何回か分かりませんがねえ。いつも感動して帰ります。もちろんこれからも参ります。



新年会 1月24日新宿クルーズクルーズにて

多くの会員の方々に参加していただきたいと企画致しました今年の新年会、42名の皆様方と共に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

4月から始まる新講座の講師、内藤和美、蒔村三枝子両講師による朗読で幕を開け、豪華景品が当たる「あみだくじ」で一喜一憂。その後、楽笑朗花(らくしょううららか)こと飯森都さんによる「南京玉すだれ」で会場は大変盛り上がりしました。

皆さんに引いていただいたおみくじのお賽銭は協会に寄付致しました。新たな一年の始まりとして、楽しく親睦の深まった一日となりました。(渡部玲子)



第4回 朗読コンクール

1月30日（土）、31日（日）港区文化芸術振興基金助成事業として赤坂区民センターホールで開催されました。多数の応募者から予選を通過された「一般の部」「大学生の部」各20名のうち本選第1次で各10名選出され、最終日本選第2次審査で入賞者が決定されました。

参加者のステージでの熱演及び延べ約300名来場者・若さ溢れる大学生等で終始盛り上がったコンクールとなりました。



ゲスト 野田 愛子さん



ゲスト 放送劇 東洋英和女学院生徒

1 一般の部		1 大学生の部	
	岡崎 弥保さん		戸村 玲さん
	2 滝本 忠生さん		2 岩淵 早秋さん
	3 縣久恵さん		3 水上 雅代さん
	入賞 山崎 巖さん		入賞 江澤 璃菜さん
	入賞 神田 遼子さん		入賞 斑石 あゆみさん

コンクールを終えて

坂本・田中・早川・松島で取り組んだ数ヶ月間の準備は、常に時間とのせめぎあいだった。万全とまでは言えないが、出場者、来場者、審査員の方々から、参加して楽しかった、聞きにきてよかった、企画内容が予想以上に良くできていたとの批評も届き、まずは4回目、盛会裏に終えることができた胸をなで下ろしている。

今回の特徴は①港区から初の助成金を受け、協会の朗読コンクールが認められた。②一般の部に加え、新たに大学生の部を設けた。③飯田理事より FM 東京関連の大学生の団体「カタクリコ」をご紹介いただき、大勢の若い人からの応募があった。④念願だったパソコン集計のプログラミングに協力があり、初導入が叶った。⑤思い切った交渉の結果、多くの企業から賞品・景品の提供をいただいた、等である。

担当になって実感したのは「終わりよければ全てよし」ではなく、「準備よければ憂い無し」だった。今回の諸々の反省事項はしっかり次回にバトンタッチしたい。コンクールの進行の各セッションで裏方を努めた事務局・かもめはじめ新旧会員の方々の熱意とご協力に御礼を申し上げると共に、主婦である4人が、家事そっちのけで没頭できたのも、渋面ながらいつも陰で支えてくれる各々のダンナ様方に、深く感謝する次第である。（松島邦）



本番5分前



司会 長野 淳子



出場者 控室



スタッフミーティング



集計室 つかの間の休憩

【第4回朗読コンクール】

開催日 : 2010年1月30日・31日
 会場 : 赤坂区民センターホール
 審査員 : 児玉朗 渡辺裕之 高橋俊三 成瀬芳一 城所ひとみ
 太田治子 中田薫 加賀美幸子 飯田輝雄 飯島晶子 河崎早春
 主催 : NPO 日本朗読文化協会
 共催 : 港区教育委員会
 後援 : kiss ポート財団 (株)八重洲ブックセンター キングレコード (株)
 賞品並びに景品提供 :
 (株)インターナショナルカルチャー (財)NHKサービスセンター
 カゴメ(株) キングレコード(株) (株)新潮社 (株)日経ラジオ社
 ハリウッドビューティ専門学校 ブルガリアローズジャパン(株)
 (株)八重洲ブックセンター
 企画制作 : 坂本有子 田中邦子 早川とし子 松島邦



高松より

人生二毛作

大谷智勢子



「東京の帝国劇場で森光子さんの『放浪記』を見た。芝居が終わり森さんは満員の観客に全身全霊をささげて感謝の気持ちを表していた。命を絞り出すようで、人間の崇高さを感じた。演劇にかける情熱、パワーに感動した。森さんのような役者になりたい」

今私は県内のアマチュア劇団では最も歴史のある劇団ドラマ・サロン、その劇団の2代目座長を務めている。高松市の職員をしていた。子供のころから『演劇少女』だった。初代座長との出会いは25年前。初代が講師を務める朗読教室を受講した時だった。5年後に入団を勧められそれから初代の座長との2人3脚。入団数カ月後に初舞台。いきなり菊池寛の名作『父帰る』のおたか役をいただいた。従来にないおたかを演じてくれた、と先生が評価してくれた。何より嬉しかったのは、病床の父が車椅子で舞台を見に来てくれた。聞くと感動して涙を流したという。演劇は家族や病人を元気づけることが出来る。それが演劇を一生続けるきっかけになった。

2000年初代座長が他界し先生の遺志で2代目座長となった。現在劇団の構成員は16人、様々な職業のなかまがいる。朗読も30年近いキャリアを持つ。NPO日本朗読文化協会の県支部長も務めている。『演劇も朗読も自分とは違う“もう一人の自分”を演じられる』のが魅力。演劇も朗読も一生続けたい。



奈良より

暮らしの中の朗読を目指して

平眞知子



自宅を開放しての文庫活動を始めて二十余年になります。学校帰りの子ども達に絵本などを読み聞かせていた事が、現在の朗読活動の原点になっていると思います。

「朗読」という表現活動に魅かれたのは、所属している劇団で、神戸の震災をテーマにした朗読劇に出演したことでした。「ことば」が「声」という乗り物に乗り、まっすぐに観客の方々の深いところへ、まるで光のように吸収されるさまに心が震えました。

それからは、文庫活動の中で、特に子ども達の朗読に力を注いできました。幼い頃、ひとつひとつの言葉に想像力をかきたてられながら、ドキドキと本の世界に遊んだそのままを呼吸にして届けてくれる子ども達の朗読は圧巻です。昨年の図書館での母娘三人の「そらまめくん」の朗読の可愛かったこと！！みなさんにお届けしたかったです（笑）

私自身は、地域活動に加え、邦楽のコンサートでの語りや、ホテルの定期イベントで中高年の方々に民話や昔話を童謡とともに楽しんで戴いたり、小さな朗読会を企画したりと、今は仕事や日常と両立しながらマイペースでささやかな活動を楽しんでいます。

そんな私がある日「もっと聴きたい！もっと学びたい！知りたい！」と立ち止まった事が「日本朗読文化協会」に入会するきっかけでした。その年の「朗読の日」に博品館劇場で本当に沢山の会員の方々の朗読を聞かせて頂く機会を得ました。その凝縮された三日間に私は体のなかで、言葉にならない何か動きシフトしたことを今でもはっきりとおもいだす事ができます。

また昨年には、思いがけず、住信大阪の新春朗読会にお声をかけて頂きました。会報誌や舞台でしか存知あげなかった素晴らしい先輩方と「源氏物語」「60歳のラブレター」などで共演させていただいた事は、最高の体験、学びになり心から感謝しています。

私の夢は、自分の住む場所で、子どもやお年寄りなど老若男女が集い、まるで一緒にごはんを食べるように、気軽に朗読を楽しむ、交わす機会を定期的に作る事です。

朗読が舞台の上だけでなく、日常の中に豊かに在り続ける事を願い、自分自身も日々の活動の中で、身体を、声を、そして何よりも心を磨いていきたいと思っています！！

いつか、関西にも日本朗読文化協会ができる事を願いつつ…。



熊澤南水 朗読教室

自分磨きの旅に出よう



名作「日本婦道記」山本周五郎作を通して、女性の真の美しさは何かを捜し求める旅と一緒に歩いてみませんか。そこにはつい見落としていた小さな幸せの存在に気付かされるかもしれません。

熊澤南水 (くまざわなんすい)

1983年東京「可否の会」に入会。三上左京氏の指導を受ける。幼い日から心に秘めてきた「ことば」へのこだわりを、舞台朗読という道に見出し活動を始める。原作にはあくまで忠実に、「心にしみることばを伝えたい」・・・と全国各地で公演。一葉作品を含むさまざまな文学作品を題材とした「南水ひとり語り」を続けている。

内藤和美 朗読教室

表現としての朗読は新たな自分との出逢いでもあると思います。



～心揺さぶる作品に出会う。声に出してみた。イメージーションが広がった。聴き手が現れた。心の交流が生まれた。新たな感動が芽生えた。～

積み重ねた人生経験を糧に表現としての朗読をしてみませんか。その為には瑞々しい感受性と確かな自分の声が必要です。今回は芥川龍之介作品の中から「地獄変」の部分を読みます。骨格のしっかりした力強い作品です。是非挑戦してみてください。

内藤和美 (ないとう かずみ)

故今福祝氏に「アナウンスメント」故高橋博氏・故山内雅人氏に「朗読」故小金井芦州氏に「講談」を学ぶ。アナウンスアカデミー、K プロダクションを経て現在話芸集団「ぶれさんぼうず」に所属。「語りの会 ぼてふり」「えん」「朗読の会 ことのは」など定期公演に出演「ハートストリングス語りと朗読の会」は公演数39回を数える。ここ10年来文化庁芸術祭にも参加している。

蒔村三枝子 朗読教室

あなたの思いは届いていますか? 聞き手に言葉と心を伝える為に



作品から受けた感動や喜びを、どうすれば聞き手に伝えることができるでしょうか。「永日小品」夏目漱石作を題材に、作品をどのように理解し、どう伝えるかをじっくりと考え、朗読の世界を構築していきましょう。

蒔村三枝子 (まきむら みえこ)

青山杉作記念俳優養成所卒業。養成所時代より、狂言、古典の語りを和泉流狂言師石田幸雄に師事する。劇団《風》を経て、現在は壤晴彦が主宰する演劇倶楽部『座』の活動に参加。また、ラ・ペジブル主宰として、演劇、朗読の公演企画制作を行い、2000年から始めた一人芝居「広島にチンチン電車の鐘が鳴る」は各方面から注目を集め、以後、毎年感動の舞台を続けている。

編集後記

- 数年前、朗読教室の生徒になったばかりの私が、初めて朗読ニュースに接した時、当協会に関わる方々の活動に驚きました。その頃に比べ、さらに様々な講座が用意され、イベントも増え拮りを見せている中、生きいきと活躍されている大勢の協会の姿に心打たれます。そのような皆様の活動をお伝えできましたでしょうか。(佐々木富紀)
- 会員の皆様、新春号如何でしたか。お読みになってのご感想・ご意見是非ともお寄せ下さい。投稿もお待ちしております。原稿をお寄せ下さいました皆様ご協力ありがとうございました。(早川とし子)

会員情報

- 2009年11月～2010年1月に入会されたのは以下の方々です。
秋山 道子、坪谷 美穂子、吉澤 和代 (敬称略・50音順)
- 2010年度 会員継続手続きのお願い
会費振込用紙を送付いたしましたので、3月31日までに
お振込お願い申し上げます。

朗読ニュース 2010年新春号 発行日 2010年2月26日
発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-8-8 赤坂フローラルプラザビル 3F
TEL:03-3584-4451 FAX: 03-3584-4452
E-mail: npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴 訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔
■ KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲
■ KICG15071
- ◆ 若紫(上・下)
■ KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴
■ KICG15073
- ◆ 葵(上・下)
■ KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下)
■ KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル 定価各2,000円(税込)



源氏物語

瀬戸内寂聴 訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- 朗読：NPO日本朗読文化協会会員
宮崎弥生・秋山雅子・岩瀬弥永子
福田雅世・飯島昌子・安倍真壽美
坂本有子・加藤敏子・松島邦
- (Disc 1) ① 桐壺 ② 藤壺 ③ 空蟬 ④ 夕顔 ⑤ 若紫
 - (Disc 2) ① 末摘花 ② 朧月夜 ③ 六条の御息所 ④ 明石 ⑤ 源氏物語の魅力

好評発売中

KICG-5068~69 CD2枚組 定価3,000円(税込)

【第42回】日本レコード大賞[企画賞]受賞作品!

昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル 好評発売中 各定価¥2,000(税込)

温かく、優しく迎えてくれる「ふるさと」がいっぱいあります。



【CD全47タイトル】■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵：鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化財産となっています。このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によって地元の言葉で現地収録しました。大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれていきますことを、心から願っています。



全65タイトル 好評発売中!

※内容は別冊「日本のこころと品格」10タイトルです。

美しいことばと豊かな心

Roudoku Series 朗読CDシリーズ心の本棚

【第一弾】 【第二弾】

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込) CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第三弾】日本の詩歌

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第四弾】名作を聴く

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) 2枚組各¥3,500円(税込)

【第五弾】日本人のこころと品格

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

■詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル

0120-340-670

インターネット

<http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)



KING RECORDS

FAX

03-3945-9086

ハガキ

〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内 キングダイレクトアクセス行

*キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

h!ramaTV